

日頃、地域医療連携室へご支援・ご協力をいただきありがとうございます。
でございます。

この度、副院長の佐藤一成先生が、平成28年1月1日付で、由利組合総合病院へご転任されました。先生には、がん連携パスや共同利用施設の運用等、当室の事業にご協力いただき、地域医療連携にご尽力いただきました。

今回、佐藤副院長より、ご転任にあたり、ご挨拶のお言葉をいただきましたので、ご紹介いたします。

地域医療連携室 大沢 知佳



異動のご挨拶

副院長 佐藤 一成 先生

平成16年6月から11年半、横手・平鹿の地でお世話になりましたが、平成28年1月1日付けで、由利組合総合病院に副院長として異動となりました。皆様がこのニュースをご覧になる頃には、違う形の鳥海山を背に日本海からの浜風に抗いながら、3kmの道を歩いて「ゆりくみ」に通っていることと思います。

連携室だよりの創刊号（平成19年9月）で、荻原忠地域医療連携室長（現おぎわら内科診療所長）は、平鹿総合病院と地域医療関係者の連携のあり方として「顔の見える関係」を実現したいと抱負を述べておられました。賛同するところ多とし、可及的多くの機会を捉えて医師会の諸先生や地域の医療関係の方々とお会いするようにしましたが、横手・平鹿には魅力的な方々が多く、また美味しい料理やお酒もあって、いろいろなお話を聞かせていただき、大変に参考になり、かつ楽しい時間を持つことが出来ました。由利本荘でも同様の態度で地域の医療連携に取り組みたいと考えております。

病院職員、地域の病院・診療所、その他の医療・福祉の関係者の皆様にはこれまでのご厚情に心から感謝を申し上げます。皆様の事業の安寧と皆様のご健勝を祈念申し上げ、またお目にかかる機会もあろうかとは思いますが、ひとまずお暇のご挨拶とします。



佐藤 一成
副院長

大変お世話になりました。
今後の更なるご活躍を祈念しております。

佐藤 一成副院長を送る会

H27.12.28